

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年12月19日

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小牧市	代表者名	山下史守朗
担当者部署	市長公室	連絡先電話番号	0568-76-1156
担当者役職	専門員	担当者氏名	吉田健太郎
		連絡先E-mail	
住所	485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	参加者の満足度も高く、再度開催してほしいとの声が多数あった。参加者、一人一人に寄り添い、丁寧に対応いただけたのがよかった。
アドバイザーへの要望事項	次年度もよろしくお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年12月17日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時30分	15時00分	60
			活動時間（分）	270	
3-2. 派遣場所	会場名	小牧市役所	最寄駅	小牧駅	
	所在地	小牧市堀の内三丁目1番地	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市民	32人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	近年、身の回りの様々なサービスがスマホ一つで完結するようになってきている。しかし、高齢者等の中には、スマホ操作に不慣れな方も一定数存在しており、情報格差（デジタルデバインド）を是正する必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	参加者、一人一人のレベルや相談内容に応じて、個別相談形式で対応し、スマホ操作に慣れてもらう。スマホに関する知識を習得してもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	浦田先生と研究室の学生に協力いただき、市民との相談役をお願いした。また、当日使用する資料の作成及びアンケートの集計を依頼した。	
支援を受け改善又は解決された内容	参加者のスマホ操作に係る相談・悩みを解消することができた。スマホの便性さを実感してもらえた。	

(具体的にご記入下さい)	ら。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート集計が完了次第、送付します。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



